

広報

東峰

1

JAN/2009/Vol. 46 E-mail: kikaku@vill.toho.fukuoka.jp URL: <http://www1.vill.toho.fukuoka.jp>

●めがね橋（栗木野）ライトアップ



福岡県東峰村
毎月1日発行





東峰村長 高倉秀信



年頭の

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、希望に満ちた輝かしい初春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。平素から、行政運営に対しましてご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

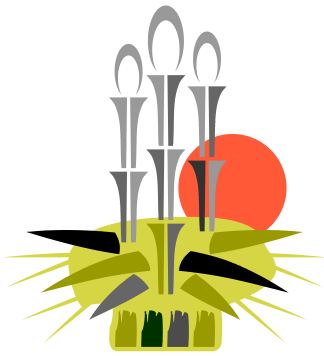
さて、昨年を顧みますと、サブプライム問題に端を発し世界的な景気減速が広がり金融市場の機能不全が生じ不安定な経済局面へと追い込まれてきました。また、道路特定財源であるガソリン税等の暫定税率の見直しが政治争点となり地方の道路整備や地方財政が一層厳しいものとなるため暫定税率の廃止に反対し、その維持を地方六団体で強く要望したところです。また、その一方では記録的な猛暑の真夏日が続き農作物の被害を心配しましたが東峰村においては大きな被害も無く安堵したところです。このようなときに三笠フーズの汚染米転売事件が摘発され残留農薬などが含まれる食品問題は一層深刻化し、一昨年の食品をめぐる偽装事件を戒めるどころか工業米として購入したものをあろうことか食用として転売し食の安全を根底から揺るがす卑劣な行為が横暴した年でもありました。東峰村は風評被害を受けることのない安心、安全の信頼ブランドを掲げた農業を展開し良質米の生産にあたっているところです。

そのような中、6月、環境省は岩屋湧水を「平成の名水百選」に選定いたしました。岩屋周辺の地域では「竹棚田景観保全委員会」や「宝珠山百年の森づくり実行委員会」、「宝珠山ホテルを育てる会」、岩屋地区住民により組織された美しい自然環境を保全するための地域活動が積極的に行われ、田植え体験、稲刈り体験、農業体験など都市住民との交流事業を通じて多くの方に親しまれているところです。そのような活動が評価を受け「平成の名水百選」に選ばれたものです。6月25日、当時の鴨下環境大臣により認定書の交付があり、麻生福岡県知事に表敬訪問し報告いたしました。

その他、教育環境整備やブロードバンドサービスが開始されたことに伴いIT推進室を中心に東峰そんみん塾の皆さんによるパソコン教室の開催、住民ディレクター講座、鳳雛塾の開催。子育て支援センターの開設、福岡市シーホーク九州夢街道内にアンテナショップのオープン、小石原焼伝統産業会館10周年記念事業登り窯の整備、東峰村商工会ポタリー事業支援、中山間地域総合整備事業ため池、かんがい排水路整備、農地保全工事、雨よけハウス補助、荒廃森林再生事業、村道改良、林道改良などの事業に取り組んだところです。今後につきましても教育環境の充実や子育て支援、高齢者に優しい福祉の充実、男女共同参画社会の実現、国県道の整備促進、村営住宅の整備、東峰メディアカフェの設置など東峰村一次総合計画の実現に向け推進するとともに当面する課題や多様な村民ニーズに的確に対応してまいり所存であります。

特に景気底冷えの経済状況の下にあっては行政改革推進室を中心に行財政改革の実行と住民自治の確立、住民自治はどのような時代の変革があろうともそこに住む人が自治権の行使が出来る村づくりの根幹を成すもので全力を傾注し取り組んでまいります。

村民の皆様には村政運営に対しまして、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ年頭のあいさついたします。



東峰村議会議長 森山元實

あいさつ

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

皆様方には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年5月に東峰村議会議長として就任し、半年が過ぎましたが、何かと議会に対し、格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国の内外ともに混迷する状況下で、景気は急激に後退し、雇用の悪化は益々加速し、権限や人、情報や金など中央に集中する一方で、多くの町村は、高齢化・人口減少が進み地域間の格差は益々拡大しています。

かつて約3,200あった市町村は、平成21年3月には、約1,780になるようです。地方分権社会が進むと、地方自治体の責任も増えてまいります。

東峰村は、地方分権の流れの中で合併し、今年で5年目を迎えようとしています。

平成21年度からは、道路を含めた小石原川ダム水源地域整備事業が本格化する予定で、村では、十数項目のダム関連事業が計画されています。

また、住環境整備のための国道211号の歩道設置、国道500号の改良促進、県道八女香春線改良促進など多くの課題もあります。

村民に、より身近なサービスを提供する村の役割は、益々大きくなってまいります。

そのためにも、合併して良かったと言える村となるために、住民の声を議会にお聞かせ頂き、村の政策形成過程や政策の実施に積極的に参画して参ります。

また、議会が決定した政策を中心に行う執行機関(村)の行政の運営や事務処理ないし事業の実施が、適法かつ適正に、しかも公平・効率的にそして、住民に理解されているかどうかを監視してまいりたいと思っています。

東峰村の自然豊かな地域資源を活かした住民参加型の議会を目指し、今後合併しない村づくりのために村民一体となった議会活動を行なって参りますので、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

年頭に当たり、皆様方のご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。





おらが村の ニュース&

冬の夜空に映えました

■めがね橋ライトアップ

12月11日(木)～25日(木)の15日間、毎年恒例のめがね橋ライトアップが行われました。

開催期間中は、JR日田彦山線の筑前岩屋駅～大行司駅間に架かる3橋梁(栗木野、宝珠山、第二大行司)がライトアップされ多くの観光客やカメラマンが訪れていました。これらのめがね橋は昭和13年に建設され、同31年に全線開通してから半世紀もの間、休むことなく列車を通してきました。これらのコンクリート多連アーチ橋は九州の近代土木遺産にも指定されています。

東峰村の自然に飛びたて

■ニホンキジ放鳥

猟友会東峰支部の皆さんがキジの放鳥を行いました。狩猟鳥であるニホンキジの保護繁殖を図るために、毎年実施されているそうです。今年は朝倉農林管内で173羽が放鳥され、そのうち東峰村では大字福井ボタ山跡地と大字宝珠山岩屋公園山村広場の2箇所です計19羽のキジの放鳥がおこなわれました。

これからも東峰村が緑豊かな村であってほしいですね。



寒い中、一生懸命頑張りました

■小学校 持久走大会

12月5日(木)に原地区で小石原小学校、12月10日(水)に寺村地区で宝珠山小学校の持久走大会が行われました。小石原小学校は吹雪の中、宝珠山小学校は晴天の中とコンディションは違いましたが、生徒たちは保護者からの声援を浴びながら、全力で駆け抜けていました。

小石原小学校



宝珠山小学校



トピックス

おめでとうございます

■教育者文部科学大臣表彰受賞

12月8日（月）、東京のグランドプリンスホテル赤坂「五色の間」において、平成20年度教育者表彰式が行われました。

この表彰式において、全国で154名、福岡県では3名の方が表彰され、その中の一人として東峰中学校の西見修一校長先生が表彰を受けられました。

また、皇居で天皇陛下に拝謁されたそうです。

西見校長先生は大学卒業後、各中学校、付属中学校、教育事務所、教育センター等に勤務され、教諭のみならず、教育行政、教育研究に携われ現在に至っています。その永年の功績が評価され今回の表彰となりました。

西見校長先生より「学校関係者のみならず、PTA及び村民の皆様への学校に対するご支援の賜物と受け止めています。この荣誉に恥じないように今後とも中学校教育の充実に努力いたします。」と皆様への感謝と決意の言葉がありました。



おいしいそうなお餅ができました

■中学校餅つき大会

12月17日（水）、東峰中学校で餅つきがありました。前日よりベニヤ板の洗浄、もち米洗い、容器洗いなどを行い、当日は保護者や東峰中部営農組合の方々と一緒に1年生24名が臼と杵を使って、80kgの餅をつきあげました。最初はタイミングが合わず苦戦していましたが、回数を重ねるにつれてスムーズにつきあげていました。

この活動は東峰中部営農組合と連携して田植え、水田管理・観察、稲刈り、脱穀作業までを自分たちで行い、つきあげたお餅は、12月19日（金）に生徒たちの手によって村内の65歳以上の世帯に配られました。



▲最初は杵でしっかりと練り上げます



▲みんな顔が汚れるくらい頑張りました（笑）



▲タイミング良く搗けました

ペレットストーブ燃焼実験実施中!!

昨年(2019年)の3月、皆さんに概要版を配布していました「バイオマスエネルギーの有効利用調査」報告書に基づき、東峰村では平成20年11月26日から「ペレットストーブ」の燃焼実験を実施しています。

「ペレットストーブ」とは、木質ペレットを燃料とするストーブです。近年、地球温暖化対策として化石燃料(石油等)の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制の必要性が唱えられています。その対策の一つとして、間伐材や樹皮が原料の木質ペレットを燃料とする「ペレットストーブ」が注目を集めています。



■ペレットストーブ設置場所：東峰村役場小石原庁舎

◆世界の環境問題やエネルギー資源の状況

●地球温暖化問題

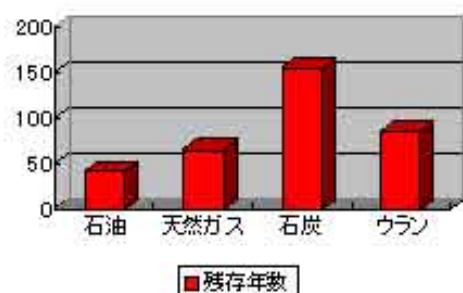
人間活動の拡大で、二酸化炭素・メタン・亜鉛化窒素などの温室効果ガスの濃度が増加することで、地球の表面温度が上昇することを言います。では、地球表面温度が上昇するとどういふことが起きるのでしょうか？

1. 海面水位が上昇(21世紀末で18~59cmと予測)することで、領土がなくなる、低地水没の危機
2. 豪雨・干ばつなどの、異常気象の増加
3. 生態系への影響・貴重な遺伝子の減少
4. 森林伐採や異常気象による砂漠化の進行
5. 水資源などへの影響、水不足の発生
6. 熱帯性感染症発生の増加(マラリヤ・コレラなど)
7. 気温上昇による穀物生産の低下、食糧不足問題
8. 高温による冷房などの消費エネルギーの増加によるエネルギー不足

これらのことが起こります。地球の温暖化が進むことは、私たちの生活にも被害が及びます。ただ地球温暖化は、目に見えないということから、私たち自身が危機的な状況にならないため、理解しにくい現状なのかもしれません。しかし将来的には、もっと深刻な問題になっていることは確かです。人事ではなく、将来のある子ども達のため、しっかりと理解し、地球温暖化防止対策をしていきましょう。

●エネルギー資源の残存年数

現状のままでは、石油が40年程度、天然ガスが65年程度で枯渇すると指摘されています。



◆木質ペレット燃料って？

化石燃料（石油や天然ガスなど）に代わり、地球環境に優しい代替エネルギーとして注目を集めているのが木質ペレット燃料です。森林資源豊かな日本にとって、効率的にエネルギーを作り出すことができる木質ペレット燃料を紹介します。



【1】ペレット燃料とは？

ペレット燃料は、再生可能で地球環境にダメージの少ない木材を原料にした新しい燃料エネルギーです。原料には間伐材や製材端材が使われ、乾燥→破碎→圧縮することで小粒状の固形燃料になります。また、灯油等の液体燃料と違い、▲木質ペレット

漏れたり染みたりする心配がなく、嫌な臭いもありません。CO₂削減に大きな効果が期待できるペレット燃料は、再生可能な地上資源として、地球温暖化問題の解決策としても注目されています。

【2】木質ペレットって何がすごいのか？

ペレット燃料のもとである樹木は、成長過程で光合成する時にCO₂を吸収しています。それを燃やして出るCO₂は、もともと樹木が吸収したCO₂が空気中に戻るだけなのです。きちんと植林すれば、再び光合成をして大気中のCO₂を吸収しながら成長し、また燃料として活用できる資源となります。この循環を「カーボンニュートラル」と呼び、新たなCO₂を生み出すことはありません。石油などの化石燃料を使用しない分だけ、CO₂削減ができるエネルギーなのです。

【3】原材料はあなたの近くの山です。

ペレット燃料の主な原料である木材は、森林の手入れのために密集化した立木を間引いた間伐材です。建築木材としても再利用も難しいことから、これまではお金をかけて燃やすか廃棄するしかありませんでした。ですが、ペレット燃料が普及することで資源として利用できるようになります。燃料を海外から輸入するのではなく、日本の森林の手入れをしながら生産することができます。また、地元の山で生産されたペレットを地元で消費することができるので無駄な輸送費・CO₂の削減にもなります。

【4】価格も環境にやさしいエネルギー

ペレット燃料は、従来の石油系燃料と比べ価格も安く、CO₂排出量も格段に低い燃料です。1,000kcalあたりの価格で比較すると、灯油が11.7円なのに対し、ペレット燃料は11.1円。また、石油系燃料は燃焼させると新たなCO₂を排出しますが、ペレット燃料は燃焼させても新たなCO₂排出にはなりませんので、地球環境にとっても優しいエネルギーです。

◆日本のエネルギー単価表 1,000kcal ◆

種類	価格	発熱量	1,000kcal 当りの価格
木質ペレット	50円/kg	4,500 kcal / kg	11.1円
灯油	97円/L	8,320 kcal / L	11.7円
A重油	87円/L	8,700 kcal / L	10.0円
電気	23円/kw	880 kcal / kw	26.7円
LPG	488円/m ³	21,800 kcal / m ³	18.7円

※この表は、WPPC木質ペレット推進協議会の試算によるものです。
(平成19年12月現在)

動画でペレットストーブの説明が見れます (<http://toho-sns.jp/tv/movies/view/2694>)